

慣用句①

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句

二の足を踏む
（にのあしをふむ）

新しいクラブ活動に参加しようか迷って、ずっと二の足を踏んでいる。

①

慣用句

頭が上がらない

②

慣用句

頭を冷やす

③

慣用句

口が減らない

④

慣用句

顔をうかがう

⑤

慣用句

目と鼻の先
はな

⑥

慣用句

目頭が熱くなる
めがしら

⑦

慣用句

首をかしげる

⑧

慣用句

耳を疑う

慣用句①

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句

二の足を踏む
（にのあしをふむ）

新しいクラブ活動に参加しようか迷って、ずっと二の足を踏んでいる。

①

慣用句

頭が上がらない

おじいちゃんには小さい頃からずっとお世話になっているので、全く頭が上がらない。

②

慣用句

頭を冷やす

友達とケンカしてカッとなったので、一度外に出て頭を冷やすことにした。

③

慣用句

口が減らない

弟は叱られても口が減らないので、お母さんはいつも困っている。

④

慣用句

顔色をうかがう

テストの点が悪かったので、お母さんの顔色をうかがいながら結果を報告した。

⑤

慣用句

目と鼻の先
はな

学校は家から目と鼻の先だ。

⑥

慣用句

目頭が熱くなる
めかしら

映画の感動的なシーンを見て、思わず目頭が熱くなった。

⑦

慣用句

首をかしげる

先生の説明を聞いてもよくわからなかったので、首をかしげてしまった。

⑧

慣用句

耳を疑う

まさか自分がコンテストで優勝するなんて、結果を聞いた時は自分の耳を疑った。